

令和８年度 第２回 笠間市文化財保護審議会 議事録

1 日 時 令和８年８月２１日（金） 午後３時３５分から 午後４時５０分まで

2 場 所 笠間市役所 議会行政棟２階 庁議室

3 出席者 笠間市文化財保護審議会 委員（１０名）
事務局（４名）

4 議 題

- （１）市指定天然記念物について
- （２）県指定文化財に係る調査候補物件について
- （３）市指定文化財に係る調査候補物件について
- （４）笠間城跡調査事業の進捗状況について
- （５）視察研修について
- （６）その他

※ 議事の前に、香取神社（南友部）及び如意輪寺（上市原）の現地調査を実施した。

5 議事内容

（１）市指定天然記念物について

【 非公開 】 ※ 市指定天然記念物に係る今後の指定の取扱いについて協議した。

（２）県指定文化財に係る調査候補物件について

【 非公開 】 ※ 県指定文化財の調査候補物件として茨城県に推薦する候補物件について協議した。

(3) 市指定文化財に係る調査候補物件について

【非公開】 ※ 美術工芸品について、市指定文化財の調査候補物件の選定基準を満たすかどうか協議した。

(4) 笠間城跡調査事業の進捗状況について

【非公開】 ※ 笠間城跡調査事業の進捗と国指定史跡化に向けた懸案事項等について報告した。

(5) 視察研修について

議長：5番の視察研修について、事務局から説明をお願いします。

事務局：視察研修について、ご説明いたします。第3回審議会については、視察研修を実施したいと考えております。資料7ページに、最近の審議会での話題に関する候補地を事務局案として挙げております。

まず、市外の候補地として、つくば市の重要文化財「矢中の杜」です。個人の邸宅であった建物を、現在はNPO法人が手入れをしながら、保存活用に取り組んでいます。文化財建造物の保存活用の参考となる事例です。

次に、神栖市の重要文化財「山本家住宅」です。茅葺き屋根の住宅で、江戸時代中期に建築されたものと考えられています。令和3年から令和4年にかけて、茅葺き屋根の全面葺替えなどの保存修理工事が行われています。

続いて、常陸大宮市文書館です。文化財の保護体制の整備に関わるものとして挙げました。こちらは、令和元年10月に審議会での視察研修を行っており、委員の方の中には既に行ったことがある方もいると思います。

市内の候補地として、住吉の教住寺を挙げています。茨城県立歴史館に寄託になっていますが、新善光寺の本尊と伝えられる阿弥陀三尊像を所有されています。また、教住寺からも、善光寺如来絵伝の調査依頼があったため、候補として挙げました。

以上4件について、事務局案として挙げておりますが、こちらの案以外にも候補となる視察研修先がございましたら、ご提案をお願いします。本日、委員の皆さまからご意見をいただき、視察研修先の候補を決定できればと考えております。よろしくお願いします。

議長：ありがとうございます。事務局案として4つ挙げていただいています。その他も含めて、委員の皆さまからご意見をいただき決めたいと思います。いかがでしょうか。

委員：常陸大宮市の文書館は、みんなで共有しておいた方がよいと思います。また、山を越えれば、茂木に降りられるので、ふみの森もてぎは町立の施設で文化財の保存公開施設として非常に小さいですが、いろんな意味で整った施設整備がされているので、一緒に見学する意義は大きいかもしれません。また、案4は文化財保護審議会の独自の調査でもぜひ拝見したいと個人的には強く思います。

議 長：ありがとうございました。3案の常陸大宮市文書館と茂木町のふみの森もてぎというご意見をいただきました。いかがでしょうか。

委 員：前回、発言があり気になっている文化財として塙家住宅があります。民家の文化財を他ではどういう形で保存しているのかというところで、2案の山本家住宅を見てもよいかと思ったのですが、場所が結構離れているので、確かに神栖は遠いですが、そういったことが問題でなければ、なかなかこういう機会でないといふところは行かないので、よいのかなと個人的には思います。

議 長：山本家住宅はどうだろうかという意見です。山本家住宅の屋根葺替えについては、何か事務局で情報をお持ちですか。

事務局：山本家住宅でも茅葺き屋根の葺替えをしてから30年程経過して、だいぶ傷みが進んでいたということで、全面葺替えと併せて保存修理工事を実施したようです。

委 員：葺替えは終わっているのですよね。

事務局：終わっています。

委 員：基本的に塙家住宅は現在進行中で、もう少し前の時点の課題があるので、完成したものを見て、そのようにするのが理想ですが、そこへ行くかどうかは分からないのでこちらも見たいことは見たいです。いろいろなところに実例があつて、実例を見ていくことも確かに必要かとは思いますが、今現在、私達文化財保護審議会委員の1番の問題はやはり文書館というか、保存をどうするかということが問題で、本当にもう今年も来年もと言っている場合ではないような状況にあるので、何回か大宮の文書館は見学に行っており、素晴らしいということは分かっていますが、もう一度改めてふみの森もてぎを成功例として見てみたいと思います。大宮の文書館の事情も、2、3年で変わってきていると思うので、塩子の回り舞台もだいぶ保存の方法が変わってきているのではないかと思います。塩子の文書館は、塩子の回り舞台を中心に保存しているというわけではありませんか。

事務局：常陸大宮市文書館は、塩子の回り舞台ではなく、公文書全体、歴史文書もそうですが、基本的に大宮で出てきてる現用で使わなくなった公文書の保管場所、それから古文書の保管場所ということで、文書館という形で運用しています。塩子が近いので、おそらく回り舞台などとの関わりもあるとは思いますが。

委 員：回り舞台の展示をやっていたところに見に行ったことがあったので。

事務局：おそらく回り舞台の展示はその時だけだと思います。

委 員：文書館の中にメインになるものがある程度あったり、古代のものであるとか、発掘されたものであるとかというの、丁寧にそこで修復などもされているかと思いますが、そういったものも含めて全体的な文書館というものを目指したいと思っています。茨城

県の中でも有数の笠間市ですので、できればそういう類のものができたらよいと思います。ぜひその辺のところを見学ばかりではなく、経過を説明してもらえると、何年もかけてあのようによったのだろうと思いますが、それにはあと3、4年かかるというような形になるとなかなか大変なので、早急に計画に入りたいという私達の希望があります。おそらく県内では1番だと思いますので、見学をするには良いと思います。

議長：ありがとうございます。3案と2案とご意見が出ましたが、今のお話を聞いて、3案で視察研修をさせていただくということではよろしいでしょうか。

(異議なし)

事務局：3案の場合ですと、常陸大宮市の文書館とふみの森もてぎで、例えば午前と午後で1か所ずつ行くという理解でよろしいでしょうか。

議長：それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

委員：藤原知家の最初の文書はふみの森もてぎにありますか。

委員：茂木文書はすべてふみの森もてぎに寄贈されています。

委員：宍戸氏にとっては貴重な文書です。

委員：将軍になった頼朝の最初の文書ですね。
もし必要があれば、特にふみの森もてぎは開館から私が関わって整備した施設なので、ご案内します。

議長：心強いお言葉をいただきましたので、3案ということで、常陸大宮市文書館とふみの森もてぎで決定させていただきます。

(6) その他

(事務局より)

- ・県指定文化財の保存活用施設に係る修理完了について（報告） ほか

(委員より)

- ・常陸太田市の集中曝涼について（情報提供）